

平成24年度事務事業評価 議会評価報告書に対する予算反映等改善書

事業名 5-1-17 ごみ袋関係経費

【予算反映等改善事項】

小松島市の指定ごみ袋の制度につきましては、小松島市ごみ対策検討委員会の提言を受けまして、平成6年4月から移行期間を設け同年8月から、ごみ袋を透明化や一部半透明化し、①ごみの分別収集の徹底によりまして、ごみの減量化やリサイクル化の推進に、寄与いたしております。つぎに、②ごみ袋の素材をポリエチレン100%にすることで塩素成分をなくし、ダイオキシン類や塩化水素など有害ガスの発生を極力少なくするという、公害等の防止という観点や、ごみ焼却施設の適正な運転、維持管理についても寄与いたしております。また、③分別の徹底や外部から内容物が確認できること、及び、引き裂きや引っ張りに対する強さ等、機械的な強度による、収集作業時におけるごみ袋の破裂などによるごみの散乱等が非常に少なくなりまして、収集作業員の危険防止やごみ収集作業の迅速化、効率化、及び、安全面の向上にも寄与いたしております。

この間、市民の方からのご意見やご要望を取り入れて、特小サイズの燃えるごみ袋を導入するなど、市民の皆様方の、多くのご理解とご協力によりまして、指定ごみ袋制度は、定着化いたしております。

現在の小松島市の指定ごみ袋の価格は、指定ごみ袋制度を採用いたしております他の自治体と比べましても、決して、法外に高いというものではないと、認識いたしております。

また、ご指摘をいただいております、ごみ袋販売における差益についてでございますが、ごみ減量化対策費に充てることといたしまして、従来から、小松島市衛生組合連合会と連携いたしまして、①衛生組合連合会に対する補助金、②資源ごみの回収報奨金、③生ごみ処理のコンポスター購入補助金、④電気式生ごみ処理機の購入補助金、⑤市民あるいは団体などからボランティアの申込みがあれば、ボランティア用のごみ袋の配布、⑥ごみの分け方・出し方の啓発用の小冊子の作製、⑦家庭ごみ収集カレンダーの作製など、市民に還元するなど、減量化対策として、有効に活用させていただきます。

今後につきましては、①原材料の高騰や円高の影響及び、消費税率の引き上げに伴う製造コストの上昇が見込まれており、調達コストは上昇いたしますが、販売価格を現状のままに据え置くことによりまして、消費税の引き上げ分を含めて、実質的には、引き下げの効果がございます。②小松島市衛生組合連合会で昨年実施いたしました、レジ袋型のごみ袋のアンケート結果を踏まえまして、関係部局とも調整を図りながら、レジ袋型のごみ袋の導入につきましても、住民の皆様へのご負担が増加しないように、前向きに検討いたします。